

公会計事業別財務書類分析シート

事業

分析シートの解説 (公会計事業：河川費)

決算対象年度：令和03年度 対象年月：令和4年3月
 会計：一般会計
 局：県土整備局
 所属：県土整備局河川課（直通045-210-6475）
 （令和4年度～：県土整備局河港課）
 公会計事業：河川費

1 主な事業内容

- ・遊水地の整備や流路のボトルネック箇所の鉄道橋架替等の大規模事業について、重点的、集中的に実施する。
- ・堆積土砂の除去や施設の機能を維持するための護岸補修等、適切な維持管理を実施する。
- ・総合的な土砂管理を推進するため、「土砂管理検討委員会」を年1回開催する。
- ・相模川及び酒匂川で置き砂等を実施する。

2 行政コスト及び純資産変動計算書

(単位：千円)

科目	R01決算	R02決算	R03決算	R01-R02増減率	R02-R03増減率
経常費用	47,313,524	49,386,606	54,108,662	4.4%	9.6%
人件費	1,218,307	1,333,480	1,291,689	9.5%	△3.1%
物件費等 ※	41,119,482	42,900,669	48,211,135	4.3%	12.4%
物件費	3,647,602	4,359,389	4,261,794	19.5%	△2.2%
維持補修費	4,428,670	5,153,075	6,680,409	16.4%	29.6%
減価償却費	32,288,069	32,212,083	32,004,237	△0.2%	△0.6%
移転費用 ※	3,672,644	288,956	3,775,256	16.8%	△7.3%
補助金等	2,881,343	4,077,426	5,691,908	41.5%	△9.5%
社会保障給付	-	-	-	-	-
経常収益	-	-	-	-	-
使用料・手数料	50,417	53,833	53,262	6.8%	△1.1%
その他	-	-	-	-	-
純経常行政コスト(経常収益-経常費用) ①	△40,743,311	△48,744,021	△53,402,150	△4.3%	△9.7%
臨時損失	7,848	76,125	88	870.0%	△99.9%
臨時利益	7,083	-	-	皆減	-
経常利益	△40,743,311	△48,820,146	△53,462,238	△4.4%	△9.5%

①行政コスト計算書及び純資産変動計算書(経常費用の経年比較)：
 維持補修費 ⇒ 152.7 百万円 (29.6%) 増加

②貸借対照表(資産の部)：
 工作物 ⇒ {43,890千円(工作物(事業用資産)) - 43,890千円(工作物(減価償却累計額)) + 2,584,677,108千円(工作物(インフラ資産)) - 2,106,555,187千円(工作物(減価償却累計額))} ÷ 522,876,786千円(資産合計) = 91.4%

③貸借対照表(負債の部)：
 県債 ⇒ {172,422,672千円(固定負債(県債)) + 16,948,296千円(流動負債(県債))} ÷ 190,197,828千円(負債合計) = 99.6%
 ※固定負債と流動負債の県債を合計して内訳を計算しています。

3 貸借対照表

(単位：千円)

科目	R02決算	R03決算	増減率	科目	R02決算	R03決算	増減率
【資産の部】				【負債の部】			
固定資産	548,712,757	522,876,736	△4.7%	固定負債	173,154,507	162,100,469	△6.4%
有形固定資産	548,598,206	522,768,053	△4.7%	県債	172,422,672	161,428,438	△6.4%
事業用資産	3,370,546	3,369,347	0.0%	長期未払金	-	-	-
土地	3,348,616	3,348,616	0.0%	退職手当引当金	731,835	672,031	△8.2%
建物	44,415	44,415	0.0%	損失補償等引当金	-	-	-
建物減価償却累計額	△22,485	△23,684	5.3%	その他固定負債	-	-	-
工作物	43,890	43,890	0.0%	流動負債	17,043,321	17,612,856	3.3%
工作物減価償却累計額	△43,890	△43,890	0.0%	県債	16,948,296	17,517,054	3.4%
その他	-	-	-	未払金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	賞与等引当金	95,025	95,802	0.8%
インフラ資産	544,641,414	518,917,013	△4.7%	預り金	-	-	-
土地	12,478	12,478	0.0%	その他流動負債	-	-	-
建物	2,387,506	2,763,972	15.8%				
建物減価償却累計額	△713,943	△760,862	6.6%				
工作物	2,584,659,203	2,584,677,108	0.0%				
工作物減価償却累計額	△2,074,748,996	△2,106,555,187	1.5%				
その他	-	-	-				
建設仮勘定	33,045,165	38,779,504	17.4%				
物品	586,246	481,693	△17.8%				
無形固定資産	16,974	17,605	3.7%				
投資その他の資産	97,577	91,077	△6.7%				
流動資産	30	51	67.7%				
資産合計	548,712,787	522,876,786	△4.7%				
				負債合計	190,197,828	179,713,325	△5.5%
				純資産合計	358,514,959	343,163,462	△4.3%
				負債及び純資産合計	548,712,787	522,876,786	△4.7%

(注) 負債の部における未払費用、前受金、前受費用は、その他流動負債に含む。

4 事業分析

① 行政コスト計算書及び純資産変動計算書(経常費用の経年比較)

主な増減(R02-R03の比較)は、維持補修費が15.3億円(29.6%)増加しています。要因としては、令和元年の台風19号被害に伴う河川修繕工事等の増に伴うものです。

② 貸借対照表(資産の部)

R03決算の内訳は、工作物が4,781.2億円で、資産の91.4%を占めています。そのほか、建設仮勘定が387.8億円、土地は33.6億円となっています。

③ 貸借対照表(負債の部)

R03決算の内訳は、県債が1,789.5億円で、負債の99.6%、退職手当引当金が6.7億円で0.4%を占めています。

④ 貸借対照表(純資産合計)

R03決算では、資産合計5,228.8億円から負債合計1,797.1億円を差し引いた3,431.6億円が純資産合計となり、純資産比率(純資産合計/資産合計)は65.6%です。

⑤ 貸借対照表(資産の経年比較)

主な増減(R02-R03の比較)は、建設仮勘定が57.3億円(17.4%)増加しています。要因としては、国の施策である「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に伴う整備を実施したためです。

(注1) ②の分析のうち「建物」「工作物」「建設仮勘定」は、事業用資産及びインフラ資産を合算した上で、それぞれ減価償却累計額がある場合はその金額を控除しています。

(注2) ③の分析のうち、「県債」は、固定負債と流動負債を合算した金額です。

(注3) 他の公会計事業で保有する財産や、国、市町村が保有する財産を整備・修繕するために発行した「県債」や「人件費(退職手当引当金等)」が計上されていることなどにより、資産の計上がない、純資産合計がマイナスとなる場合があります。